

SeeSnake® シースネイク

microREEL™

APX™

CA



警告!

本機を使用する前に、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書の内容を理解せずに使用すると、感電や火災、大けがを負う場合があります。

microREEL コンパクト C40の使用に関するサポートおよび追加の情報は support.seesnake.com/ja/microreel にアクセスするか、このQRコードをスキャンしてご覧ください。



目次

序章

規制に関する声明	3
安全に関する注意	3

一般的な安全上の注意事項

作業場所での注意事項	4
電気に関する注意事項	4
作業者の安全に関する注意	4
機器の使用とお手入れに関する注意	5
バッテリーの使用と取扱い	5
作業前の点検	6

SeeSnake microREEL 概要

説明	7
仕様	8
コンポーネント	9

機器の安全に関する注意事項

microREEL の安全性に関する情報	10
----------------------------	----

操作方法

配置	10
microREELケースを開ける	11
ドラムの取り付け	11
検査の概要	12
パイプガイド	13
micro CA-350検査カメラ	13
スリップリングアセンブリの取り外し	13

microREEL CAキーパッド

microREEL CA Keypad	14
---------------------------	----

メンテナンスとサポート

クリーニング作業に関する注意事項	16
コンポーネントのメンテナンス	16
保管方法	16
サポート	16
点検と修理	16
廃棄方法	16

付録

付録A: プッシュケーブルの再挿入	17
-------------------------	----

*オリジナル説明書 – English英語

序章

本取扱説明書に記載されている警告、注意、指示事項に起こりうるすべての条件状態が含まれているわけではありません。本機器を使用するにあたって、作業者自身が良識や注意といった要因を考慮する必要があります。

規制に関する声明



EC適合宣言書(999-995-232.10)は、必要に応じて本取扱説明書に添付文書として追加されます。



このデバイスはFCC規則第15部に準拠しています。操作には次の2つの条件が適用されます。(1) このデバイスが有害な干渉を引き起こすことはありません。(2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります。



UK Importer
Ridge Tool UK (RIDGID)
44 Baker Street
London W1U 7AL, UK

安全に関する注意

本取扱説明書と製品本体において安全に関する重要な内容を知らせるために記号や表示が使用されています。本項ではこれらの記号や表示をより良くご理解いただけるように記載しています。



この記号は安全に関する警告記号です。怪我を負う危険があることを警告しています。怪我や死亡につながる危険を避けるためこの記号が記載された文章に従ってください。

⚠ 危険

この表示は危険を示します。記載内容を無視すると死亡または大けがを負うことがあります。

⚠ 警告

この表示は警告を示します。記載内容を無視すると死亡または大けがを負う可能性があります。

⚠ 注意

この表示は注意を示します。記載内容を無視すると軽度または中度の怪我を負う可能性があります。

注記

この表示は施設の保護に関する事項が記載されていることを示します。



このマークは機器を使用する前に取扱説明書をよくお読みくださいという意味を示しています。取扱説明書には機器を操作する上で安全および適切な使用方法に関する重要な情報が記載されています。



このマークは機器の持ち運びや使用において側面がカバーされている安全メガネまたはゴーグルを使用すると、目の怪我につながるリスクを少なくすることができると意味を示しています。



このマークは感電の危険を示しています。

一般的な安全上の注意事項

警告



安全に関する警告と説明を全てお読みください。警告や指示を守らない場合、感電・火災・大けがに至ることがあります。

本取扱説明書を保存してください！

作業場所での注意事項

- 作業場所は常に清潔で明るくしてください。物が散乱していたり、暗い場所での作業は事故につながります。
- 可燃性の液体や気体、粉塵などで爆発の危険がある環境で機器を使用しないでください。機器の使用で火花が発生して、ガスや粉塵に引火する場合があります。
- 機器の使用中は、子供や部外者を近寄らせないでください。注意散漫になると、機械の操作を誤ることがあります。
- 車に注意してください。道路上あるいは道路脇で作業するときは、通行中の車に注意してください。視認性の高い作業服あるいは反射ベストを着用してください。

電気に関する注意事項

- パイプラジエーター、コンロ、冷蔵庫などの接地表面と身体が接触ないようにしてください。身体が接地すると感電する危険が高まります。
- 機器を雨にさらしたり濡らしたりしないでください。機器内部に水が入り込むと、感電する危険が高まります。
- 各電気接続部分は乾燥した状態にし、地面から離してください。濡れた手で機器やプラグを触ると感電のリスクが高まる場合があります。
- コードは丁寧に扱ってください。コードを引っ張って機器を移動したり、プラグを抜き差ししたりしないでください。熱、極端な低温、油、鋭い刃、作動中の部品の近くにコードを近づけないでください。コードが損傷していたり、ねじれていたりすると、感電のリスクが高まります。

- 湿度の高い場所での機器使用が避けられない場合は、漏電遮断器(GFCI)で保護された電源を使用してください。GFCIを使用すると、感電の危険を減らすことができます。

作業者の安全に関する注意

- 常に作業に集中し、常識的な判断力をもって機器を操作してください。疲労、薬物、アルコール、医薬品の影響を受けた状態で機器を操作しないでください。たとえ一瞬でも操作中に注意を怠ると、重傷を負う原因になり得ます。
- 適切な衣服を着用してください。緩めの衣服、またはアクセサリーの着用はおやめください。緩めの衣服、アクセサリー、長い髪は作動中の部品に巻き込まれることがあります。
- 衛生状態を良好に保ってください。排水検査機の使用後は、管内の内容物に触れた手や身体各部は、熱いせっけん水で洗浄してください。内容物は毒性や感染性がある場合があります。汚染防止のため、排水検査機取扱い中の食事や喫煙は控えてください。
- 排水管内での機器操作は必ず正しい防護具を使用してください。排水管は化学物質や菌、その他有害物質などの感染症を引き起こす物質を含んでいる場合があり、火傷やその他の怪我や病気につながる恐れがあります。適切な身体保護用品として、安全メガネは常に着用し、必要に応じて防じんマスク、ヘルメット、目栓やイヤーマフ、排水清掃用グローブあるいは手袋、ラテックスあるいはゴム手袋、保護面、ゴーグル、安全作業服、防毒マスク、つま先に鉄の入った安全靴などを併用してください。
- 排水管清掃機および管内検査カメラを同時に使用する際は、RIDGIDの排水管清掃機用グローブを着用してください。排水管清掃ケーブルにからまったり、手を怪我する原因となりますので、専用グローブ以外の手袋や布切れなどで回転しているケーブルをつかまないでください。ラテックスあるいはゴム手袋を着用する場合は、必ずその上からRIDGID排水管清掃機用の専用グローブを着用してください。また損傷している排水管清掃機用グローブは使用しないでください。

機器の使用とお手入れに関する注意

- 機器に無理な力をかけないでください。必ず用途に合った機器を使用してください。作業をより良く安全にするために、用途に合った機器を使用してください。
- 電源スイッチでオン/オフの切り替えができない状態の機器を使用しないでください。電源スイッチ制御ができない機器は危険です。必ず修理を行ってください。
- 調整作業や付属品の交換また機器を保管する場合は電源プラグやバッテリーパックを外してください。このような予防措置を講じることで、怪我をする危険を軽減することができます。
- 使用中ではない機器は子供の手の届かない場所に保管し、機器の取扱いに詳しくない人に操作をさせないでください。取扱い方法を知らずに機器を操作すると危険です。
- 機器の保守点検を実施してください。可動部品が位置ずれしていたり、動かなくなっていないか、なくなっていたり、損傷のある部品はないかなど、機器操作に影響する恐れのある状態がないか確認してください。損傷が見つかった場合は、必ず修理してから機器を使用してください。事故の多くは、適切な保守点検が行われていない機器を使用したことが原因で発生します。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。作業は常に足元を安定させ、バランスを保ちながら行ってください。バランスのよい姿勢で操作すると、予期しない状況においても機器をうまく制御できます。
- 機器や付属品は作業の条件や内容を考慮しまた本取扱説明書の指示に従って使用してください。用途以外の目的に機器を使用すると危険です。
- 付属品は機器メーカーが推奨するものだけを使用してください。適合する機器以外の機器に付属品を使用すると危険の原因になることもあります。
- 取っ手部分は乾燥した清潔な状態に保ち油分が付かないようにしてください。取っ手部分を清潔にすることで機器の操作がより良くなります。
- 使用中は液晶画面を衝撃から保護してください。液晶画面前面への衝撃はガラス破損

および表示の完全故障を引き起こすことがあります。

バッテリーの使用と取扱い

- 機器を使用する際は指定のバッテリーパックのみを使用してください。他のバッテリーパックを使用すると怪我や火災につながる危険性があります。
- 充電には製造者が指定する充電器のみを使用してください。特定のバッテリー用の充電器を別のバッテリーパックに使用すると火災の危険性があります。
- 充電器の使用中はカバーをしないでください。正しく作動するには、適度な換気が必要です。使用中に充電器をカバーすると、火事につながる危険性があります。
- バッテリーや充電器は説明書に従って湿気のない適温の場所で使用・保管してください。高温または低温、湿気のある場所でバッテリーを使用、保管すると、液漏れや感電、火傷につながる危険性があります。
- 伝導性のある物を使ってバッテリーパックの精査を行わないでください。バッテリー端末装置がショートすると、火花、火傷、感電の原因となります。バッテリーパックを使用していないときは、クリップ、小銭、鍵、釘、ネジ、端末装置同士をつなげることができるその他の金属に近づけないようにしてください。バッテリー端末がショートすると、火傷や火事につながる恐れがあります。
- バッテリーを乱暴に扱って液体が漏れる可能性があります。その場合は液体に触れないようにしてください。万が一液体に触れた場合は、水でよく洗い流してください。液体が目に入ってしまった場合は、早急に医師に相談してください。バッテリーからの液体は、皮膚の炎症や火傷の原因となります。
- バッテリーパックは正しい方法で廃棄してください。バッテリーパックは高温にさらされると破裂の原因になります。廃棄の際には燃やさないでください。バッテリーの廃棄については、国の規制に従ってください。適用される規制にはすべて従ってください。

作業前の点検

警告



感電やその他の原因による大けがのリスクを軽減し、機器の損傷を防ぐために使用前に毎回全ての機器を点検し問題を修復してください。

全ての機器を点検するために以下の手順に従ってください：

1. 機器の電源をオフにしてください。
2. 全てのコード、ケーブル、コネクタを抜いて、損傷あるいは変化がないか確認してください。
3. 付着している汚れ、油分、その他の不純物をきれいにすることで、点検しやすく、持ち運びや使用する際に手のすべりを防ぎます。
4. 機器を点検して、安全・正常な操作に支障をきたすような破損、損耗、欠如、位置ずれ、動作不能箇所その他異常がみられないか確認してください。
5. 各機器の取扱説明書に従って、全ての機器が良好に使用できる状態であるか点検してください。
6. 下記に関して作業場所を確認してください：
 - 十分な明るさがあること。
 - 引火性の液体、蒸気または埃がないこと。もしあれば、取り除くまでその場所で作業しないでください。機器は防爆仕様ではありません。電気の接続により火花が発生させることがあります。
 - 水気や障害物がない平らで安定した作業用スペースがあること。水中に立った状態で本機を操作しないでください。
7. 作業をするのに何が必要かを確認して、必要な器材を決定してください。
8. 作業場所を確認し、必要であれば通行人を遮るための柵を設置してください。

製品の安全性に関する詳細と警告については10ページを参照してください。

SeeSnake microREEL 概要



説明

RIDGID® SeeSnake® microREEL™は、イメージング機能が強化されたポータブルでカスタマイズ可能な診断カメラリールです。

より剛性の高いプッシュケーブルを備えたmicroREELは38mmから102mm [1.5インチから4インチ] の長いパイプを検査するのに理想的です。付属のキックスタンドを使用すればケーブルを押ししたり取り出したりする際にmicroREELを最適な位置にセットできるのでさらに安定します。

microREELはカメラヘッドにゾンデを内蔵しておりユーザーテロケーティングレシーバーで位置を特定しパイプ内の関心のあるポイントを見つけることができます。

付属のハイダイナミックレンジ(HDR)センサーはカメラのダイナミックレンジを拡大し同じ画像の中の明るい部分と暗い部分をより大きな比率で同時に表示できるようにします。これにより照明条件が厳しい場合でもパイプ内をより明確に視認できます。

microREEL APX

microREELはすべてのSeeSnakeモニターと互換性があります。CSx Via™モバイル検査装置はスリッパリングキャビテを介してmicroREELに簡単に接続できます。

自動画像反転

microREEL APXはSeeSnake CSxシリーズの装置に接続するとカメラがパイプ内で回転するにつれ画面の画像を反転させ上下の方向が一定に保たれるようになります。画面上のアイコンは画像に対する垂直方向を示します。

TruSense®テクノロジー

microREEL APXには、TruSenseテクノロジー対応のカメラが付属しています。TruSenseテクノロジーはカメラヘッドと接続されたCSxシリーズの装置間で双方向コミュニケーションリンクを確立させます。

TiltSense傾斜計はカメラの傾斜角を測定しCSxシリーズのWi-Fi対応モニターに表示してパイプ内に置かれたカメラの角度の指標を提供するので便利です。

microREEL CA

microREEL CAは付属のCA-350ドッキングハンドルとアダプターを使ってRIDGID micro CA-350のハンドルモニターと連携します。キーパッドを使ってケーブルの距離、ジョブ顧客情報をオーバーレイすることができカメラの照度を調節したりゾンデのオンオフを切り替えたりすることも可能です。

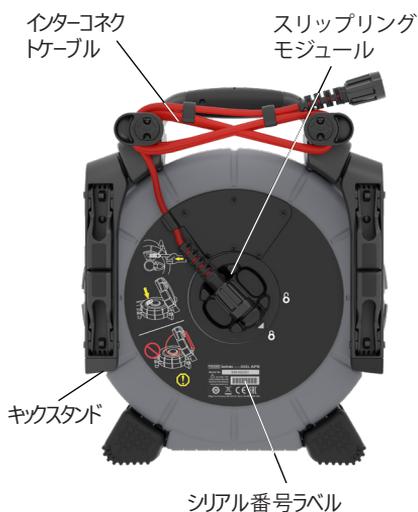
仕様	
重量	5.8 kg [12.7 lbs]
寸法	
長さ	337 mm [13.3 in]
幅	224 mm [8.8 in]
高さ	411 mm [16.2 in]
ドラムの直径	305 mm [12 in]
カメラ	
長さ	26 mm [1 in]* 37 mm [1.5 in]**
直径	25 mm [1 in]
解像度	640 × 480 ピクセル
ゾンデ	
タイプ	Integrated
周波数	512 Hz
カウンター	
タイプ	APX: TruSense カウンター CA: キーボード付き統合カウンター
データコミュニケーション	APX: 双方向 CA: 一方通行
プッシュケーブル	
長さ	30 m [100 ft]
直径	6.7 mm [0.27 in]
グラスファイバー芯の直径	3 mm [0.12 in]
最小曲げ半径	64 mm [2.5 in]
適用管径 [§]	38 ~ 101 mm [1.5 ~ 4 in]
システムケーブル長	3 m [10 ft]

仕様	
操作環境	
温度 [†]	0°C ~ 46°C [32°F ~ 115°F]
保管温度	-20°C ~ 70°C [-4°F ~ 158°F]
保護等級 (モニターなし)	IP×5
相対湿度	5 ~ 95%
高度	4,000 m [13,123 ft]
カメラの防水性能	100 m まで防水 [328.1 ft]
* レンズからスプリングまで計測.	
** レンズからスレッド末端まで計測.	
§ 実際の適用管径は、管種管内状況により異なります.	
† カメラは極端な温度でも機能することがありますが、画質の変化が生じる場合があります.	

標準付属品

- SeeSnake microREEL
- ボールガイド
- 取扱説明書
- microCA-350 アダプター アクセサリー (microREEL CAモデル)

コンポーネント



CA-350 display handle (CA-350は含まれていません)

CA-adapter



Cable wrap (ケーブルラップ)



機器の安全に関する注意事項



この章には、microREEL に関する重要な安全情報が含まれています。感電・火災、その他の重大な傷害の危険を軽減するために、ご使用前に次の注意事項をよくお読みください。

警告事項が載っている全書類や取扱説明書は後で参照できるように必ず全て保管してください!

microREEL の安全性に関する情報

- 本取扱説明書、デジタル録画モニターの取扱説明書、およびご利用になる他の機器の説明書をご使用前によく読み理解してください。指示に従わない場合、機器の損傷や大けがにつながる恐れがあります。後で参照できるように、取扱説明書は本機と一緒に保管してください。
- 水中での機器の操作は感電のリスクを高めます。作業中あるいは機器が水に浸かった状態で、本システムを操作しないでください。
- 機器は高電圧に対する保護や絶縁に対応するようには設計されていません。高電圧が存在する環境で機器を使用しないでください。
- 機器の損傷を防いでけがのリスクを軽減するために、装置に機械的な衝撃を与えないでください。機械的な衝撃を与えることで、機器が損傷したり大けがのリスクが高くなります。
- 排水管内の機器操作は必ず正しい防護具を使用して行ってください。危険な化学物質や細菌を含む可能性のある排水管を検査するときはラテックスあるいはゴム手袋、ゴーグル、保護面、防毒マスクなどの適切な身体保護用品を着用してください。汚れや他の異物から目を保護するために必ず目の保護具を着用してください。

操作方法

配置

microREELを配管入口付近に設置し、表示を見ながらアックスケーブルの操作が可能です。microREELが使用中に傾かないようにキックスタンドを使用して位置を決めます。



microREELケースを開ける



ラッチを外してmicroREELケースを開ける前にカメラが完全にドラム内にあることを確認してください。カメラをカメラクラブに収納したままmicroREELケースを開けないでください。カメラがドラム内がない場合、プッシュケーブルがほどけて損傷や重大な怪我を引き起こす可能性があります。

microREEL ケースを開けてカメラの配線ドラムの交換、プッシュケーブルの巻き戻しシステムのメンテナンスと清掃を行います。

1. 本体を水平な場所に置き、仰向けに置きます。
2. microREELの両側にあるケースのラッチを外します。



ケースラッチ

3. フロントケースを慎重に開き、カメラヘッドをプッシュケーブルドラム内に配置します。
4. カメラヘッドをケース前面のプッシュケーブルガイドを通して外に出します。
5. カメラヘッドをクラブに固定します。
6. ケースを閉じて再度留めます。



ドラムの取り付け

microREEL ケースを使用すると別のプッシュケーブルとカメラの組み合わせが必要な場合にドラムを交換できます。どちらの microREEL ドラムも SeeSnake microDrain™ および nanoReel™ システムのドラムと同様に、microREEL ケースに取り付けることができます。

ドラムを取り付けるには、次の手順に従います。

1. microREELケースを開けてドラムを取り外します。
2. 使用するドラムをmicroREELケースにセットします。
3. 製品名のラベルが上を向くようにしてください。
4. ドラムを回して、自由に回転することを確認します。
5. ケースを閉じてロックします。

検査の概要

管内検査を実行するにはシーメンスモニターをリールに接続しシステムの電源を入れ、プッシュケーブルを管内に押し込み画面を観察します。

メディアへの記録、ゾンドの位置確認、プッシュケーブルのトレスレポートの配信などの高度な検査オプションについては、モニターに付属の取扱説明書を参照してください。

モニターへの接続

コネクターガイドピンをソケットに合わせ、コネクターをまっすぐに押し込んでインターコネクトケーブルをモニターに接続します。

注記 外側のロッキングスリーブのみを回して締めてください。絶対にコネクターを曲げたりねじったりしないでください。



外側のロッキングスリーブ

CSx への接続

CSx Via Wi-Fi 検査デバイスはスリップリング キャビテを介して microREEL に接続できます。スリップリング アセンブリをマイクロリールから取り外し、CSx ピアをスリップリング キャビテに取り付けます。

CSx Via のインストール手順の詳細についてはオペレータ マニュアルを参照してください。

カメラの回収

プッシュケーブルをゆずりと一定の力でパイプから引き出し、少しずつドラムに戻します。プッシュケーブルを引き出しながらペーパータオルか布で拭き取ります。

注記 過度な力を加えたり、無理な角度から引っ張ったりしないでください。プッシュケーブルを一気にあるいは無理やりドラムに戻そうとすると、輪になったり、よじれたり、破損する可能性があります。

パイプガイド

パイプガイドはカメラをパイプの中心に置き画質を向上させレンズをきれいに保つ働きがあります。できる限りパイプガイドを使用して、カメラシステムの摩耗を軽減してください。



micro CA-350検査カメラ

microREELCAは、CAモデルに付属しているmicro-CA350アダプターを取り付けるとRIDGIDmicroCA-350検査カメラで使用できるようになります。

microCA-350をmicroREELに接続する手順については、付属のmicroCA-350アダプターの説明書を参照するかsupport.seesnake.com/ca350をご覧ください。

スリッピングアセンブリの取り外し

1. レポート モニターからシステム ケーブルを外しドッキング システムからモニターを取り外します。
2. システムケーブルをケーブルラップから外します。
3. フレーム ケーブル アンカーをフレームから外しシステムケーブルをフレーム フックから外します。
4. スリッピングダイヤルを反時計回りに回してロックを解除します。
5. ますぐに引き抜きます

注記

スリッピングダイヤル内のコンタクトピンに触らないでください。コンタクトピンに力を加えることで破損する恐れがあります。



microREEL CAキーパッド



microREEL CA Keypad		
キ		目的
	メニュー/戻るキ	メインメニューを開きメニューと画面を終了します。
	ゼロ/選択キ	強調表示されたメニュー項目を選択するか長押し(3秒以上)してシステムのゼロ点を設定します。プッシュケーブル全長の仮ゼロ点を測定する場合は再び1秒間押します。もう一度押すと全長測定に戻ります。
	ソンドキ	ソンドのオンオフを切り替えます。オンの場合キーの上のLEDが点灯します。
	LED照度調整キ	カメラのLED照度を調節します。押して照度レベルを操作するか、1回押して矢印キーで照度を調整します。◀▶
	上矢印/編集キ	メニューの選択肢の変更とテキスト内のカーソルの移動を行います。押して強調表示されたテキストを編集します。画面上のテキストを編集する手順については画面上のテキストセクションを参照してください。

microREEL CA Keypad		
キー		目的
	左/右矢印キー	メニューの選択肢の変更とテキスト内のカーソルの移動を行います
	下矢印キー	メニューの選択肢の変更とテキスト内のカーソルの移動を行います。
	テキストキー*	オンオフを切り替えてプリセットテキストやカスタムテキストの表示非表示を変更します
	日付/時刻キー*	オンオフを切り替えて検査の日時の表示非表示を変更します。
	距離キー*	オンオフを切り替えて搭載カウンターの測定値の表示非表示を変更します
*オンにするとこの機能がモニターの録画ビデオに表示され、検査レポートに含まれます。		

メンテナンスとサポート

クリーニング作業に関する注意事項

システムは布切れかやわらかいナイロンブラシで洗浄してください。必要に応じて、中性洗剤または消毒剤を使用することができます。システムの部位に関わらず、溶剤や高圧水で洗浄しないでください。

コンポーネントのメンテナンス

カメラヘッド

カメラの引っかき傷はカメラの性能にほとんど影響しません。カメラの傷を取り除くためにスクレーパーを使用したり、サンドペーパーで磨かないでください。

ブッシュケーブル

ブッシュケーブルをドラムに押し戻しながら布で拭き取り、傷や摩耗がないか実際に目で確認してください。外部被覆が損傷または磨耗している場合は、ブッシュケーブルを交換または修理してください。

保管方法

コンパクト C40は湿気の少ない安全な場所に-10℃から70℃で保管してください。機器は、子供やその使用目的を知らない人の手の届かない場所に施錠保管してください。

サポート

サポートやシステムの使用に関する追加情報は、support.seesnake.com/ja/microreel/をご覧ください。

点検と修理

不適切な点検や修理はカメラを安全にお使いいただけなくなる原因になります。

カメラの点検や修理は必ずRIDGID認定修理センターで行ってください。最寄りのRIDGID修理センターを見つけた場合またはサービスや修理のご質問は下記までお問い合わせください。

点検および修理はリジッド正規代行店が行います。下記までご連絡ください。

正規修理代行店
コア・エレクトロニクスシステム
リジッド製品修理センター
〒224-0026
神奈川県横浜市都筑区南山田町4105
株式会社 コア・エレクトロニクスシステム
リジッド製品修理センター

TEL: 045-534-8243
FAX: 045-624-9123

(祝祭日を除く月曜日 から金曜日 9:00 ~ 17:00)

その他製品に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

日本エマソン株式会社リジッド事業部
〒140-0002
東京都品川区東品川1-2-5
リバーサイド品川港南ビル5階
TEL: (03)5769-6953 (代)
FAX: (03)4496-4286
(祝祭日を除く月曜日 から金曜日 9:30 ~ 17:00)
メールアドレス: RIDGID-CS@emerson.com
<http://www.ridgid.jp>

廃棄方法

本システムの部品にはリサイクルが可能な有価物が含まれています。お近くのリサイクル専門業者にお問い合わせください。部品の廃棄は適用される規制に従って行ってください。さらに詳しい情報に関してはお近くの廃棄物管理機関にお問い合わせください。



EC加盟国: 電気機器は家庭ゴミと一緒に廃棄しないでください!

電気電子廃棄物に関する欧州ガイドライン2012/19/EUおよび適用される国内法では、使用できなくなった電気機器は個別に回収し、環境にやさしい方法で廃棄される必要があります。

バッテリーの廃棄

EC加盟国: 不良または使用済みのバッテリーはガイドライン2006/66/ECに従ってリサイクルしてください。

付録

付録A: プッシュケーブルの再挿入

NOTICE

注記 - プッシュケーブルをドラムに巻き取る際には、無理な力を加えないでください。プッシュケーブルを一気にあるいは無理やりドラムに戻そうとすると、輪になったり、じれたり破損する可能性があります。

プッシュケーブルがドラムからほどけてしまった場合は、次の手順に従ってプッシュケーブルを再度挿入してください。

1. プッシュケーブルを再度挿入する前にケースにドラムを取り付けます。



2. スペースがある場合は、地面でプッシュケーブル全体を伸ばしてまっすぐにします。



3. 両手を使ってプッシュケーブルをドラムに巻き取り始めます。プッシュケーブルをまっすぐに伸ばすことができない場合は、細心の注意を払いながらプッシュケーブルを巻き取ってください。プッシュケーブルが曲がったり何かの上や下に引っかかったりしないようにしてください。

プッシュケーブルがねじれたり曲がったりした場合は、巻き取りを中止してねじれをほどいてから作業を続けてください。

4. プッシュケーブルを巻き取ったらドラムがケース内で回転することを確認します。プッシュケーブルの破

損を避けるためプッシュケーブルを巻き取る際にはドラムが滞りなく回転するように片手で調整できるようにしておいてください。



5. カメラヘッドをプッシュケーブルガイドにゆっくり通します。

カメラヘッドを交換する場合はプッシュケーブルが曲がったり破損したりしないようにケーブルのスプリングがある部分だけを引き上げてください。



WWW.RIDGID.COM

Ridge Tool Company
400 Clark Street
Elyria, Ohio 44035-6001
USA
1-800-474-3443

Ridge Tool Europe NV (RIDGID)
Ondernemerslaan 5428
3800 Sint-Truiden
Belgium
+32 (0)11 598 620

© 2023年 Ridge Tool Company 無断複写複製転載を禁じます。

この取扱説明書の情報が正確であることを保証するためありとあらゆる努力を重ねてきました。Ridge Tool Companyとその関連会社は、予告なしにこの取扱説明書に記載されているハードウェアソフトウェアあるいはその両方の仕様を変更できる権利を保有しています。本製品に関する最新および追加情報は下記のサイトでご覧になれます。www.RIDGID.com 製品向上の結果この取扱説明書にある写真その他の(図などの)表示や説明と実際の製品に違いがあることがあります。

RIDGIDとRIDGIDロゴはアメリカ合衆国やその他の国で登録されているRidge Tool Companyの商標です。文書内で言及されているその他全ての登録済み未登録の商標やロゴに対する財産権は各所有者が所有しています。サードパーティ製品について言及している場合は、情報提供のみを目的としているもので承認あるいは推奨しているものではありません。

米国で印刷

2022/11/02
744-034-0355-00-0A

RIDGID


EMERSON